

～切符 de アート～  
杉並区の小学生が使用済みの切符を使い  
街のシンボル、上井草駅前の「ガンダムモニュメント」  
をイメージした壁画を制作します。  
～日本動画協会と西武鉄道が実施する「アニメのふるさとプロジェクト」～

日本動画協会  
西武鉄道株式会社

日本動画協会（事務局：東京都千代田区、理事長：松谷孝征）と西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：後藤高志）は、「アニメのふるさとプロジェクト」（アニメを通じた社会貢献活動の一環）として、3月13日（金）に当社線使用済みの切符（杉並区内の駅／新宿線：上井草駅・井荻駅・下井草駅）約7万枚を使って壁画を制作する体験学習イベントを杉並区の三谷（さんや）小学校（東京都杉並区上井草3-14-12、校長：伊東富士雄）の3・4年生の生徒約140人とともに実施いたします。

これは、「子供たち」・「ふれあい」・「地域コミュニティ」・「環境」をテーマとして、地域の小学生が使用済みの切符を使い、壁画を制作することにより『リサイクル＝エコ（ECO）』を体験してもらい、環境意識を高めてもらうことを目的としています。

完成した作品は、3月22日（日）の上井草商店街振興組合主催『ガンダムモニュメント完成1周年記念 富野由悠季監督講演会』の会場である杉並区立井草中学校（東京都杉並区上井草3-20-11、校長：寺田節子）に展示し、その後は杉並アニメーションミュージアムなど杉並区内の公共施設等において展示する予定です。

「アニメのふるさとプロジェクト」は、今後もアニメを通じて、子供たちの笑顔を創造することだけでなく、地域の人々とその土地の資源を大切に地域社会と共に歩んでまいります。

（詳細別紙）



—「機動戦士ガンダム」テーマ：大地から（高さ約3m）＜西武新宿線上井草駅＞—  
＜（C）創通・サンライズ＞ \*右上：制作予定モザイク画イメージ（5mm升にて制作）  
※「杉並区内共通商品券」の絵柄を加工・修正したデザインを使用

(詳細)

### 「切符 de アート」実施概要

目的:「子供たち」・「ふれあい」・「地域コミュニティー」・「環境」をテーマとして、地域の子供たちが、使用済みの切符を使用する壁画を制作、『リサイクル＝エコ(ECO)』を体験・理解してもらう。制作する子供たちが一体となって協同制作することによるコミュニケーション、完成時の達成感などの体験、地域(資源)の理解と環境問題への意識醸成を図る。

制作概要: 杉並区立三谷小学校の3、4年生を対象とした地域資源学習の一環として、上井草駅前に設置してある街のシンボルである「ガンダムモニュメント」をデザインとした壁画を制作。

制作日: 2009年3月13日(金) 午前中

制作場所: 杉並区立三谷小学校(東京都杉並区上井草3-14-12)

実施概要: デザインを約140枚のパーツに分割。そのパネルを一人1枚ずつ制作していく。完成した全てのパネルを組合せて壁画の完成。

- ・制作人員140名(3・4学年 全員)
- ・作業時間1時間30分(一人あたりの作業) 約500枚
- ・サイズW 1,100 × H 1,680 予定

主催: アニメのふるさとプロジェクト(日本動画協会・西武鉄道)

後援: 杉並区

協力: ㈱サンライズ、㈱手塚プロダクション、上井草商店街振興組合

設置場所: ○杉並区立上井草スポーツセンター ロビー / 杉並アニメーションミュージアム / 杉並区立三谷小学校 / 上井草商店街振興組合の店舗(例: 銀行) など

#### 切符deアートのデザインについて

「機動戦士ガンダム(ガンダムモニュメント)」を使用する。地域や商店街のそれぞれの想いがひとつになり、新たな地域資源として作られたガンダムモニュメントは設置から早1年となる。その1周年記念イベントの一環として、街の新しいシンボルをデザインとした。

<ご参考>

#### 「日本動画協会」

我が国のアニメーション製作業界の意志を統合し、関連する諸企業・団体との連携を保ち、アニメーション産業全体の持続的発展を目指している団体です。同協会は、アニメーション業界のマーケット情報の収集と発信、各種付加価値の創造、著作権保護の研究と実践、人材の育成、さらに諸団体との協力・調整やアニメに係わる様々な協同研究などに取り組んでいます。また、我が国のアニメーション文化を海外に紹介するなど、国際交流の実績も重ねております。

※「アニメのふるさとプロジェクト」(アニメの活用による社会貢献活動)について

1. 合 意 日 2007年10月1日(月)
2. 提 携 日本動画協会・西武鉄道株式会社
3. 活 動 実 績

① 「かんきょうキッズ・ふるさとウォーク」

開催日：2008年4月19日(土)

内 容：人気のアニメキャラクターたちが環境への興味の入り口として参加し、地域の森や里山あるいは都心を舞台にして、子どもたちが楽しみながら地域や地球環境について理解してもらうウォーキングイベント。

② 「切符 de アート」

開催日：2008年10月19日(日)・20日(月)

内 容：「子供たち」・「ふれあい」・「地域コミュニティ」・「環境」をテーマとして、地域の子供たちが参加して使用済みの切符をつかうことにより、『リサイクル=エコ(ECO)』を体験・意識していただくことを目的とし、西武鉄道で回収された約55,000枚の使用済み切符を使用。



<飯能での「切符deアート」について>

昨年10月に飯能市内で実施した「切符 de アート」では、飯能市内の子供たちと、飯能市の自然と鉄腕アトムをイメージしたデザインの壁画を、約5万5000枚の使用済み切符で制作しました。現在、飯能市内の施設にて展示されています。

③ 「アニッコ」

配布日：2008年12月17日(水)

内 容：



<「アニッコ」について>

昨年12月に発行された子ども向けの環境マガジン。地球環境や子どもたちの安全のために何かできることはないかと考え、アニメーションを作っている会社が力を合わせてできる一歩として「アニッコ」を制作しました。創刊号は、ケロロ軍曹((C)サンライズ)が杉並区の自然や環境活動を紹介。地球侵略を企てるケロロ軍曹が、このままでは地球が温暖化などで侵略する価値がなくなると知り、みんなと協力して地球を救おうと決心します。

以上